

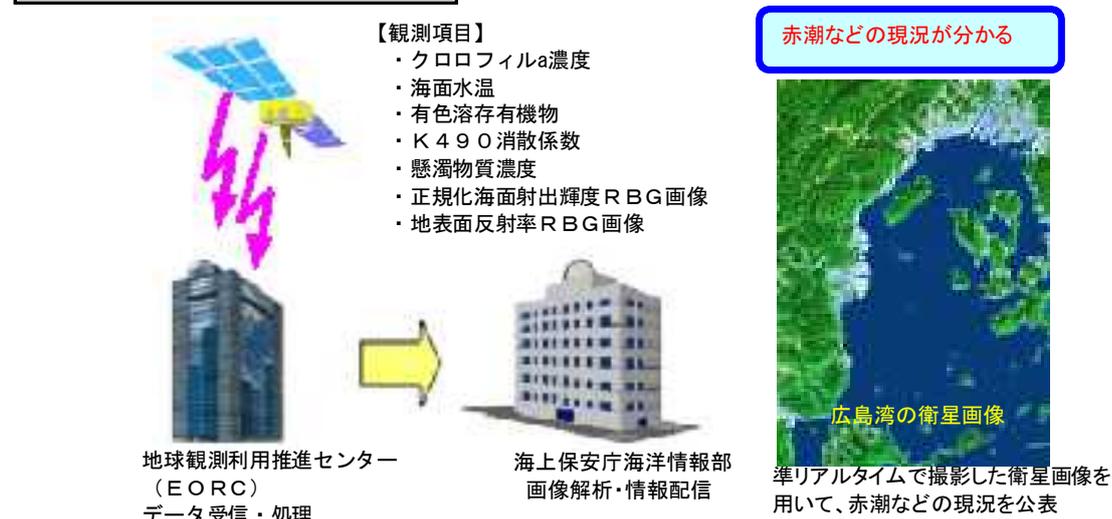
## ■人工衛星画像を活用した赤潮発生状況のモニタリングの実施 <継続>

人工衛星画像を活用した海域モニタリングは、アメリカ航空宇宙局(NASA)地球観測衛星TerraとAquaの観測データを宇宙航空開発機構(JAXA)が受信し、海上保安庁海洋情報部において画像処理(加工)を行なったものである。平成19年3月より「地球衛星画像による海域のモニタリング」を運用を開始し、赤潮の発生の目安となるクロロフィルaの画像等の情報発信も行なっています。

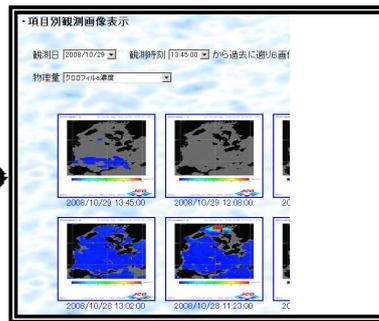
([http://www1.kaiho.mlit.go.jp/KANKYO/SAISEI2/saisei\\_html/top.htm](http://www1.kaiho.mlit.go.jp/KANKYO/SAISEI2/saisei_html/top.htm))

また、平成20年4月より海況監視衛星NOAAの1.13km格子水温データをもとに3日間平均の詳細な水温画像をホームページに掲載。(<http://www1.kaiho.mlit.go.jp/KAN6/MCSST/eisei.htm>)

### 地球観測衛星画像モニタリング



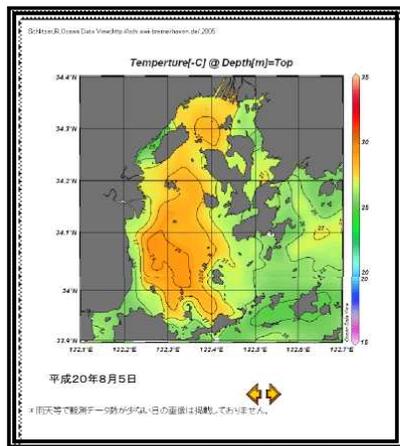
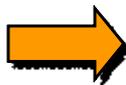
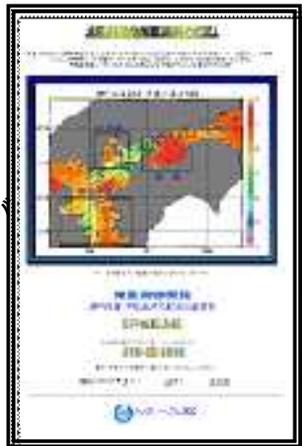
メイン画面



項目別観測画像表示 (クロロフィルa濃度、海面水温など)

### 3日間平均衛星画像(水温)

「メイン画面」  
期間で検索が可能



1日ごとに水温を表示